

# 最上地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
1市4町3村	14万4,000ha	80%

最上地域の森林の特徴は、金山杉などのスギ人工林が約4万7,000ha、森林面積の約33%を占め、県内で有数の林業地帯となっていることです。

人工林以外の森林として、周囲の鳥海山、月山、神室山など美しい山々にはブナやナラ類などの天然林も多く、巨木が多く残されていることでも知られています。なかでも戸沢村の「幻想の森」ではブナの「あがりこ」が幻想的な空間をつくっています。

## 金山町の金山杉と街並み景観づくり100年運動

金山町で育てられた樹齢80年以上のスギは「金山杉」とよばれ、江戸時代から続く高品質の木材として知られています。

これは、雪深く、長い冬の気候の中で育つために、成長がゆるやかで年輪が密で堅い木材になるためです。

また、林業とともに、製材業や住宅産業も盛んなところです。



金山のスギ林「金山杉」



最上の大木「小杉の大杉」



金山杉をたくさん使った金山住宅の街並み



スギ材でできた歩道橋「きごころ橋」

金山町では、人々の生活と自然とのかかわりを大切に、地域産業をいかした美しい街並みをつくるため、地域住民と行政が一体となって積極的に「街並み景観づくり100年運動」に取り組んでいます。なかでも、「金山住宅」は、金山杉をたくさん使い、地元の金山大工が建てた木造の住宅で、こげ茶または黒の切り妻屋根に白壁で、スギの木組みと板張りが見える美しい建物となっています。また、町を流れる金山川には、金山杉を使った屋根付きの歩道橋「きごころ橋」があり、地域のシンボルとなっています。

## 遊学の森（金山町）

「遊学の森」は、スギ林やブナ林に囲まれた里山の美しい森林公園で、冬を含め一年を通して、遊び、学ぶことができます。平成14年6月には、第53回全国植樹祭の式典会場になり、平成26年10月12日には、第38回全国育樹祭が開催されました。

中心となる「木もれび館」では、森の先生である遊学の森案内人と一緒に森林や自然の学習や森づくり体験活動、木工クラフト体験などができます。また、ぶなの広場、どちの広場や散策路もあり、「かんじき」をはいでの自然観察や雪遊びも楽しむことができます。



森林教室（木の観察）



木工クラフト（はし作り）



冬の森観察会